

1学期が終了♪夏休みを迎えるにあたって！

4月7日に、全校児童582名（現在は581名）でスタートした1学期も今日で終了しました。今思うと、あつという間の4か月でしたが、1学期は体育参観やプール水泳も行うことができました。子どもたちは行事や授業、さまざまな活動に前向きな姿勢で取り組み、充実した学校生活を過ごしていたように思います。また、どの学年の子どもたちも大きく成長したと実感しています。そんな子どもたちの成長や頑張りにかかわることができたことを大変うれしく思っています。

いよいよ、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。普段の学校での生活とは一味違ったことにチャレンジしてほしいと願っています。そして何よりも交通事故やけがに気をつけ、命を大事にしてほしいと思います。休み中の生活や学習については、学級・ふたば会・通学団での事前指導や約束の内容を通信等で連絡させていただいているが、基本的生活習慣の乱れや思わぬ事故等を招かないためにも、下記の点を参考にしていただき、子どもの生活を十分見守っていただきますようお願いします。不審電話や不審者からの危険回避、地震等の非常災害時等の対応にもご留意ください。

8月28日（木）の第2学期始業式で、元気に再会できることを楽しみにしています。



【夏休みの生活】

- 外出時だけでなく屋内でも熱中症対策に配慮し、こまめな水分補給等を心掛けてください。
- 生活目標や計画を立て、それが実践できるよう十分話し合う時間を作っていただき、日々の生活の充実を図るようにしてください。
- 家庭の手伝いなど、家族の一員として役割を果たせるようにしてください。
- 読書や芸術鑑賞をしたり、自然に親しんだりして、豊かな情操を培うよう努めてください。
- 健康で規則正しい安全な生活習慣を身につけさせてください。

6. 健康診断等で発見された疾病を治療し、健康の増進を図るようにしてください。
7. 休業中は校区外に出向くことが多いと思われますが、問題行動等が多発しやすい場所へは出入りしないようご指導を徹底ください。不審者からの危険回避も併せてお願ひいたします。
- *外出の時は、行き先・帰宅時刻を家の人に必ず伝え、児童一人での行動は控えてください。
- 防犯ブザー等の携帯もお願いします(電池の点検をよろしくお願ひします)。
- *保護者不在時に不審電話があった場合は、相手が誰であっても応じないようにし、その旨を学校に連絡してください。
- *児童に携帯電話を持たせているご家庭は、正しい使い方についてご指導をお願いします。
8. 自他の命を守り、積極的に安全を確保する態度を身につけさせてください(交通事故・水難事故等の防止)。
- *自転車に乗るときは、ヘルメットを必ず着用させてください。交通安全に気をつけることを、子どもたちにしっかり教えてください。
9. 地区の行事等にも状況に合わせて参加し、社会性を養うとともに、地域の良さを見直す良い機会にしてください。
- *気になる子どもの姿を見かけたときは、一声かけてください。地域ぐるみで子どもたちを見守りましょう。
10. 休み中に何か変わったことがありましたら、上野西小学校(21-2821)までご連絡ください。
- 8月9日~17日(学校閉校日)の間は、伊賀市教育委員会学校教育課(22-9649)にご連絡ください。

【通知表：のびゆくすがたについて】

通知表(のびゆくすがた)は、学期ごとに1枚の用紙(A3用紙二つ折り)に印刷してお渡します。学校からお渡しした通知表は、次の学期の初めに集めることはありませんので、お知りおきください。また本年度より観点項目の一部を除いて市内で同じ形式になり、校長印と担任印はなくなりますのでご了承ください。

●学習のようす(全学年)

新学習指導要領に基づき、国語や算数等の教科を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点(国語のみ、さらに細かく7観点)で、3段階の評価(十分達成・おおむね達成・もう少しで達成)をしています。5・6年生の外国語

(英語) も、3観点で3段階の評価です。但し、1年生の1学期に限って、2段階の評価(おおむね達成・もう少しで達成)になっています。

●道徳科の学習のようす(全学年)

文章の記述による評価をしています。



●外国語活動の記録(3・4年)

文章の記述による評価をしています。

●総合的な学習の時間の記録(3~6年)

文章の記述による評価をしています。

●行動のようす(全学年)

「基本的な生活習慣」や「健康・体力の向上」等の項目を設け、よく努力している内容については○、努力を要する内容については△をつけています。空欄の場合もあります。

【言葉を大切にする取組について】

保護者の皆様の中には、「『ありがとう』は魔法の言葉」ということを聞かれたことがあると思います。『ありがとう』と言うことで、自分も笑顔になれるし、相手の笑顔を引き出すこともできます。まさに魔法の言葉であって、人と人が仲良くなることにつながります。

しかしながら、子どもたちの会話の中には、人をからかったり、バカにしたりする言葉が出てくることがあります。また、障がいのある人の人格を否定する言葉や、社会的弱者を侮蔑する言葉を、意味がわからず使ったり、友だちと口げんかをしたとき等、相手をやり込めよう



と使ったりしてしまうこともあります。これらの言葉は、ひととして許されるものではありません。そこで、それぞれの学年で、子どもたちの発達段階に応じた「言葉を大切にする取組」を進めています。是非ご家庭におかれましても、「優しい気持ちになる言葉」や「悲しい気持ちになる言葉」、そして言葉の大切さ等について、お子さんと話し合っていただきますようお願いします。

【運動場に砂を寄付していただきました～♪】

本校の運動場は使用頻度が高いうえ、近年のゲリラ豪雨等の影響で、表面の砂が流されてしまったり、凸凹が目立ち水溜まりが多くできてしまったりしていました。そんな状況を知つて昨年度に引き続き「株式会社 西條」様より、砂を10t寄付していただきました。早速、その砂を使ってグランドを整地し、子どもたちが快適に運動できる運動場に復元することができました。本当にありがとうございました。

子どもたちの日常の様子については、「上野西小学校ホームページ」

(<http://school.iga.ed.jp/uenonishi-e/>)で公開しています。ぜひご覧ください。